

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。  
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。  
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。

# CASIO

P

ELライト機能/ストップウォッチ/アラーム

## 1431

### 取扱説明書

1431

G-SHOCK

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

## 安全上のご注意

### 絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

#### ⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

#### ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

#### ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

#### ⚠ 警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となることがあります。



#### 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

#### ⚠ 注意

#### お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となります。

万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

#### 分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



# 操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。

### 時刻モード

★表示切り替え  
 (A)ボタンを押すごとに「曜日・日」表示と「月・日」表示が切り替わります。

★グラフ表示  
 現在時刻の秒に連動して点灯/不点灯します。

ELバックライトONマーク

午後マーク (午前是不点灯)

(曜日の見方)

SU:日	MO:月
TU:火	WE:水
TH:木	FR:金
SA:土	

時 分 秒

①ボタン(ライト点灯)

### アラームモード

分単位でアラームセット、および毎正時の時報セットができます。

モードマーク

アラーム時刻 12:00

### タイマーモード

1秒単位で最大24時間までの減算計測ができます。

モードマーク 時

タイマー時間 00'00"Auto

### ストップウォッチモード

1/100秒単位で、23時間59分59秒(24時間計)まで計測できます。

モードマーク

計測値 00'00"00

## ■デモ機能について

本機は、工場出荷時に「デモ(デモンストレーション)機能\*」に設定されています。  
 \*デモ機能とは、本機のアニメーション表示(ライト点灯時に表示)を自動的に見せるモードです。

- デモ機能の解除…(A)・(B)・(C)・(L)いずれかのボタンを押すと、デモ機能が解除されます。
- デモ機能にするには…(C)ボタンを2~3秒間押し続けます。

〈ご注意〉  
 デモ機能の表示のままにしておくと、電池寿命が短くなることがありますのでご注意ください。

## ライト点灯について

どの表示のときでも、(L)ボタンを1回押すと、文字板が約3秒間発光し、アニメーション表示\*が動きます。

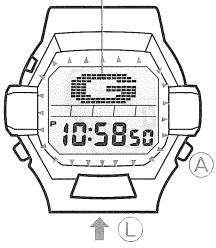
※発光中にもう一度(L)ボタンを押すと、その時点から引き続き約3秒間発光します。

●ELバックライトの自動発光  
 表示右上に"---"が点灯しているときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。("---"は、時刻モードのとき、(A)ボタンを2~3秒間押し続けるごとに点灯/不点灯します)  
 ※本機では、アラーム、時報報音時、およびタイマーのタイムアップ時に電子音が報音(文字板が発光)します。

〈注意事項〉

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためにELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

### アニメーション表示



\*アニメーション表示について  
 文字板が発光している間、アニメーション表示が動きます。  
 ※(L)ボタンを押すタイミングによって表示される内容が異なります。  
 ※発光が終わると、通常表示に戻ります。

"G"マークが回転し、「表/裏/LOST! (はずれ)」の3種類のいずれかを表示します。

(表)

(裏)  
(Lost!  
=はずれ)

## 製品仕様

水晶発振周波数：32,768 Hz  
 常温携帯精度：平均月差±15秒以内  
 基本機能：分・秒・月・日・曜日、午前/午後(P)/24時間制表示、フルオートカレンダー(1995~2039年)  
 アラーム機能：時刻アラーム セット単位=分 電子音=20秒間 時報 毎正時に2回報知  
 タイマー機能：セット単位=秒 計測範囲=24時間 計測単位=1秒 電子音=10秒間 リピート計測/オートリピート計測  
 ストップウォッチ機能：計測単位=1/100秒 計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計) 計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測  
 セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、アラームセット機能、タイマーセット機能

その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替、デモ機能  
 EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト  
 主要回路素子：音又型高性能水晶振動子 ワンチップCMOS-LSI  
 使用電池：CR-2016(電池別途販売)  
 ※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。  
 電池寿命：約2年  
 (1日あたりアラーム20秒間、ELバックライト4秒間を1回使用したとき)  
 ※ただしELバックライトの使用条件により、電池寿命が短くなる場合があります。  
 ●1日あたりELバックライト4秒間を5回使用したとき：約13ヶ月  
 ●1日あたりELバックライト4秒間を10回使用したとき：約8ヶ月

# 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

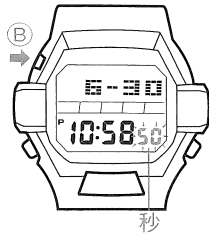
## ■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ・進みの修正

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻モードのとき、

**ⓑ ボタンを押します**

→「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、

**Ⓐ ボタンを押します**

→「00秒」からスタートします。



「00秒」になる

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。  
※時報は「時報サービス117番」が便利です。

(3) 秒セット後は、

**ⓑ ボタンを押します**

→点滅が止まります。



※秒セットのまま2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

## ■時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、

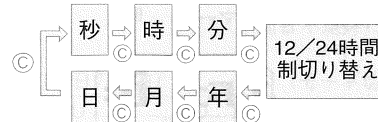
**ⓑ ボタンを押します**

→「秒」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

**ⓒ ボタンを押します**

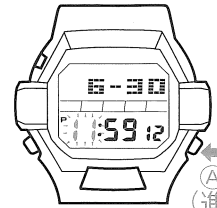
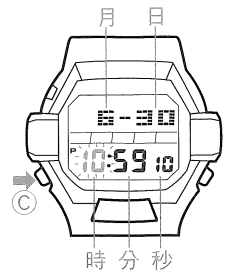
ⓒ ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動します。



(3) 点滅箇所のセット

**Ⓐ ボタンを押します**

Ⓐ ボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。



上記(2)～(3)の操作をくりかえして、時刻・カレンダーを合わせます。  
※「時」セットのとき、午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。  
※「年」は、1995～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が出されます。なお、カレンダーはうるう年、および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4) セットが終わりましたら、

**ⓑ ボタンを押します**

→点滅が止まります。

※時刻・カレンダーセットのまま、2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

# アラームの使い方

操作のしやすさにしたがってⓐボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。  
※表示右上に“---”が点灯しているときは、アラーム・時報の報音に合わせて文字板が光ります。

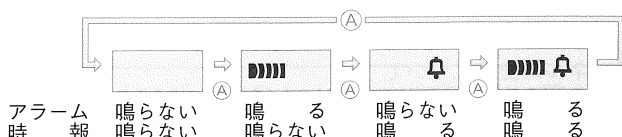
## ■アラーム・時報を鳴らすには

(1) アラームモードのとき、

**Ⓐ ボタンを押します**



Ⓐ ボタンを押すごとに以下の順でアラームおよび時報のON/OFFが切り替わります。  
※アラーム時刻セット操作をすると、自動的にアラームON(点灯)となります。



## ■鳴っている電子音を止めるには

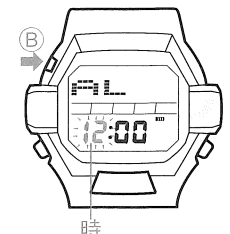
アラーム音が鳴っているときに、Ⓐ・ⓑ・ⓒ・ⓓいずれかのボタンを押します。

## ■アラーム時刻をセットする

(1) アラームモードのとき、

**ⓑ ボタンを押します**

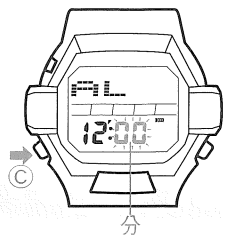
→アラーム時刻の「時」が点滅します。※このとき“AL”マークが点灯します。



(2) セット箇所を選ぶ

**ⓒ ボタンを押します**

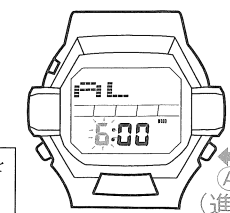
ⓒ ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「時」と「分」を移動します。



(3) 点滅箇所のセット

**Ⓐ ボタンを押します**

Ⓐ ボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。



上記(2)～(3)の操作をくりかえして、アラーム時刻を合わせます。  
※「時」セットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。  
※時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4) セットが終わりましたら、

**ⓑ ボタンを押します**

→点滅が止まります。

※アラーム時刻セットのまま、2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

## タイマーの使い方

操作のしくみにしたがってCボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは秒単位で24時間までセットでき、秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると、10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。※表示右上に“---”が点灯しているときは、タイムアップの報音に合わせて文字板が光ります。

### ■減算計測のしかた（タイマーの使い方）

タイマーモードのとき、

**①**ボタンを押します

①ボタンを押すと、1秒単位で減算計測を開始します。

●計測を一時的に中断するには、

**①**ボタンを押します。

もう一度①ボタンを押すと、その時点から計測を再開します。

●計測を中断し、計測前の表示に戻すには、**②**ボタンを押します。(計測リセット)

★残り時間が0になると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。ただし、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

### ■リピート計測／オートリピート計測

本機のタイマーは2種類あり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。(「タイマー時間をセットする」参照)

●リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップになると計測が止まり、タイマー時間を表示します。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）“AUTO”点灯

タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

### ■鳴っている電子音を止めるには

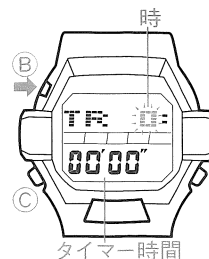
タイムアップの電子音が鳴っているときに、**①**・**②**・**③**・**④**いずれかのボタンを押します。

### ■タイマー時間をセットする

(1) タイマーモードのとき、

**②**ボタンを押します

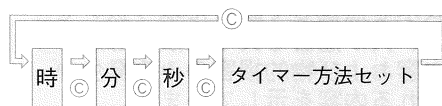
→タイマー時間の「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

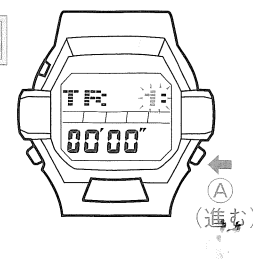
**③**ボタンを押します

③ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。



(3) 点滅箇所のセット

**①**ボタンを押します



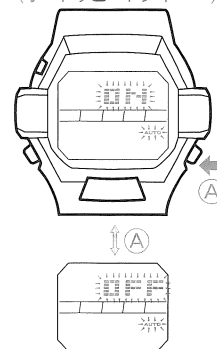
★「時」「分」「秒」セットのとき**①**ボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。

※押し続けると早く進みます。

(オートリピートタイマー)

★タイマー方法セットのとき**①**ボタンを押すごとに“ON/OFF”表示が切り替わります。(右図)

※オートリピートタイマーにするときは“ON”、リピートタイマーにするときは“OFF”を選びます。



(4) セットが終わりましたら、

**②**ボタンを押します

→点滅が止まります。

※タイマー時間セットのまま2～3分ボタン操作を行なわないと自動的に点滅が止まります。

## ストップウォッチの使い方

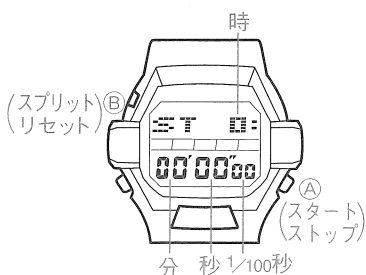
操作のしくみにしたがってCボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、0に戻って計測し続けます。

### ■計測のしかた

**①**ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

計測中に**②**ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。



※**①**・**②**ボタンともそれぞれ押すと、操作確認音が鳴ります。※計測値を0に戻すには、ストップ後、**②**ボタンを押します。

●通常計測

**①** → **①** → **②**  
スタート → ストップ → リセット

※積算計測…ロスタイムがあるときは、ストップ後リセットせずに**①**ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

**①** → **②** → **②** → **①** → **②**  
スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット

●1・2着同時計測

**①** → **②** → **①** → **②** → **②**  
スタート → 1着ゴール → 2着ゴール → 2着タイム表示 → リセット  
(1着タイム表示)

## ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水スキューバダイビング(アケアラング)での使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行わないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なバッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。

●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック ●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気 ●磁気の影響はありません。

薬品 ●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

### ■お手入れについて

お手入れ ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れ ●「サビ」

を怠ると ●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。  
※汚れにより酸素が断られると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。  
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」

●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」

●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。  
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

### ■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てますと、色あせる場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

### ■電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

### ■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

### ■ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。